

9	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
10	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
11	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
12	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
13	オールウェーブセッティング	テスト
14	総合授業	振り返り
15	総合授業	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容ベーシックA-Ⅱ
必修選択	必修	(学則表記)	美容ベーシックA-Ⅱ
開講			単位数
年次	1年	学科	美容研究科
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第2課題について基本姿勢、知識及び構成、時間、仕上がりのベースを理解して身に付ける。		
到達目標	美容師国家試験第2課題技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。		
評価基準	テスト50% 提出物20% 授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	美容ベーシックB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	渡辺 浩康	実務経験	<input checked="" type="radio"/>
実務内容	美容室2年、有名ホテルのブライダルヘアメイク5年経験。講師歴7年。現在はフリーランスのヘアメイクアーティストとして活動中。現場での知識を活かし美容師国家試験のオールウェーブについて合格に必要な技術を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
2	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
3	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
4	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
5	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたワインディング4H
6	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたワインディング4H
7	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたワインディング4H
8	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたワインディング4H

9	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたはワインディング4H
10	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたはワインディング4H
11	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたはワインディング4H
12	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたはワインディング4H
13	総合授業	総合授業
14	総合授業	振り返り
15	総合授業	振り返り

10	演習と解説	美容師国家試験過去問の演習と解説
11	まとめ	美容技術理論 I・II 重点項目復習
12	演習と解説	美容師国家試験過去問の演習と解説
13	演習と解説	美容師国家試験過去問の演習と解説
14	演習と解説	美容師国家試験過去問の演習と解説
15	総まとめ	総まとめを行う

10	感染症の総論②のまとめ 3編 感染症 2章 感染症の各論①	感染症の総論② 単元テストを実施→振り返り・解説 「空気・飛沫を介して感染する感染症」の復習
11	3編 感染症 2章 感染症の各論②	「飲食物を介して感染する感染症」の復習 「血液等を介して感染する感染症」の復習
12	3編 感染症 2章 感染症の各論③	「動物・節足動物を介して感染する感染症」の復習 「具体的な対策の例」の復習
13	感染症の各論のまとめ 3編の総まとめ	感染症の各論 単元テストを実施→振り返り・解説 3編の総まとめを実施する
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	テストを返却→振り返り・解説

9	衛生管理の実践例まとめ 4編の総まとめ	単元テストを実施→振り返り・解説 まとめを実施する。振り返り・解説
10	テスト	テストを実施する
11	国試過去問演習①	テストを返却→振り返り・解説 美容師国家試験過去問の演習と解説
12	国試過去問演習②	美容師国家試験過去問の演習と解説
13	国試過去問演習③	美容師国家試験過去問の演習と解説
14	国試過去問演習④	美容師国家試験過去問の演習と解説
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅱ - I		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅱ - I		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	保健1 保健2			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題のうち、保健領域(2編皮膚科学)に関する正しい知識を身につける。		
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準に到達する知識力の修得を目指す。		
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	山本 和平	実務経験	○
実務内容	薬剤師として5年勤務後保険調剤薬剤師として1年勤務。外部患者様向けの講習会等を行う。 薬剤師としての実務経験を元に、美容に必要な人体の保健と皮膚科学を解剖学的・生理学的視点から教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1章 皮膚の構造	1~2項 皮膚の表面・断面
2	第1章 皮膚の構造	3~7項 表皮・真皮・皮下組織、皮膚の部位差並びに人種差
3	第1章 皮膚の構造	皮膚の構造 重要ポイント解説、単元テストと4択問題
4	第2章 皮膚付属器官の構造	1項 毛
5	第2章 皮膚付属器官の構造	2~4項 脂腺、汗腺、爪
6	第2章 皮膚付属器官の構造	皮膚付属器官の構造 重要ポイント解説、単元テストと4択問題
7	第3章 皮膚の循環系と神経系	1~3項 皮膚の血管、リンパ管、神経
8	第4章 皮膚と付属器官の生理機能	1~6項 対外保護、体温調節、知覚作用、反射、分泌排泄、呼吸、吸収作用
9	第4章 皮膚と付属器官の生理機能	7~11項 貯蔵、免疫・解毒・排除、再生作用、毛と爪のはたらき

10	第4章 皮膚と付属器官の生理機能	皮膚と付属器官の生理機能 重要ポイント解説、単元テストと4択問題
11	皮膚科学 第5章 皮膚と付属器官の保健	1～11項 皮膚と全身状態、精神、栄養、し好品、体内病変、水分と脂の状態、ホルモン、保護と手入れ、毛、爪の保護と手入れ、スキンケア
12	皮膚科学 第5章 皮膚と付属器官の保健	皮膚と付属器官の保健 重要ポイント解説、単元テストと4択問題
13	皮膚科学 第6章 皮膚と付属器官の疾患	1～12項 皮膚の異常とその種類～分泌異常による皮膚疾患
14	皮膚科学 第6章 皮膚と付属器官の疾患	13～19項 化膿菌による皮膚疾患～皮膚の腫瘍
15	皮膚科学 第6章 皮膚と付属器官の疾患	皮膚と付属器官の疾患 重要ポイント解説、単元テストと4択問題

10	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
11	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
12	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
13	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
14	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
15	国家試験対策	国家試験前重要ポイント復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅲ-Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅲ-Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	香粧品化学1 香粧品化学2			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題の「香粧品化学」の正しい知識を身につける。		
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。		
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅳ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	山本 和平	実務経験	<input checked="" type="radio"/>
実務内容	薬剤師として5年勤務後保険調剤薬剤師として1年勤務。外部患者様向けの講習会等を行う。 薬剤師としての実務経験を元に、香粧品化学の知識を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 1章 香粧品概論	美容師免許を取得する上での必要性 取得までの流れを説明する
2	1章 香粧品概論	「香粧品とは何か」「薬機法とは何か」「美容師との関係は?」
3	2章 香粧品原料	「香粧品の対象となる人体各部の性状」「水性原料」「油性原料」の解説と演習
4	2章 香粧品原料	「油性原料」「界面活性剤」「高分子化合物」の解説と演習
5	2章 香粧品原料	「色材」「香料」「その他配合成分」「ネイル、まつ毛エクステンション用材料」の解説と演習
6	3章 基礎香粧品	「皮膚洗浄用香粧品」「化粧水」「クリーム・乳液」「その他の基礎香粧品」「メイクアップ用香粧品」の解説と演習
7	4章 メイクアップ用香粧品 5章 頭皮・毛髪用香粧品	「メイクアップ用化粧品の種類と剤形」「ベースメイクアップ化粧品」「ポイントメイクアップ化粧品」の解説と演習 「シャンプー剤」「スタイリング剤」の解説と演習
8	まとめ	まとめを行う
9	5章 頭皮・毛髪用香粧品	「スタイリング剤」の解説と演習

10	5章 頭皮・毛髪用香粧品	「パーカー剤」の解説と演習
11	5章 頭皮・毛髪用香粧品	「ヘアカラー」の解説と演習
12	6章 芳香製品と特殊香粧品	「芳香・特殊香粧品」「特殊香粧品」の解説と演習
13	6章 芳香製品と特殊香粧品	「芳香・特殊香粧品」「特殊香粧品」の解説と演習
14	まとめ	まとめを行う
15	解説	振り返り・解説

10	まとめ	まとめを行う
11	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
12	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
13	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
14	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
15	国家試験対策	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅳ - I
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅳ - I
開講			単位数
年次	1年	学科	美容研究科
使用教材	関係法規・制度1 関係法規・制度2(美容)	出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。		
到達目標	美容業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、美容師国家試験筆記試験「関係法規」の合格基準を満たすことができる。		
評価基準	テスト(小テスト等含む):75% 授業態度(提出物等含む):25%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	中村 真弓	実務経験	○
実務内容	美容師養成施設指定規則の通り、関係法規・制度を教えるにあたり必要な資格である中学校教諭1種免許(社会)を取得。教員免許、教員経験により美容師法を分かりやすく説明し、授業展開を行う。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章・第2章の復習	国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 成績・評価の説明 第1章・第2章の復習
2	第3章の復習	第3章1節～3節「美容師になるまで」の復習
3	第3章の復習	第3章3節「美容師に求められる義務」～「管理美容師」の復習
4	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
5	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
6	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
7	まとめ	まとめを行う
8	解説・まとめ	振り返り・解説

9	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
10	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
11	第4章 関連法規	美容業の運営に関する関連法規
12	第4章 関連法規	美容業の衛生に関する関連法規
13	第4章 関連法規	美容業の消費者保護に関する関連法規
14	まとめ	まとめを行う
15	解説・総まとめ	振り返り・解説

10	総復習(3)	国家試験過去問演習等
11	総復習(4)	国家試験過去問演習等
12	総復習(5)	国家試験過去問演習等
13	まとめ	まとめを行う
14	解説・まとめ	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストヘアⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストヘアⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	カット道具一式 カラー道具一式 ブロー道具一式			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘア&メイクのトータルコーディネートを学び、個々の創造力を豊かにする。		
到達目標	描いた作品を形にできる技術を身につける。		
評価基準	テスト:30% 小テスト:30% 提出物:40%		
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 		
関連資格			
関連科目	コンテストメイク		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	渡辺 浩康	実務経験	○
実務内容	美容室2年、有名ホテルのブライダルヘアメイク5年経験。講師歴7年。現在はフリーランスのヘアメイクアーティストとして活動中。現場での知識を活かし作品制作、コンテストについての知識や技術を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	ブロー実習	プレドライ/ハーフラウンドブラシ、ロールブラシ
3	セット実習	アイロン知識/カールアイロン、ストレートアイロン
4	撮影知識①	カメラ/構図
5	撮影知識②	カメラ/ライティング
6	ヘア実践	ウェーブクリエイティブ
7	ヘア実践	ウェーブクリエイティブ
8	ヘア実践	コンセプト説明、ペア決め
9	ヘア実践	デッサン/ヘア

10	撮影	制作練習 後半
11	作品撮影	制作練習 後半
12	ヘア実践	テストシート
13	作品作製	手直し
14	作品制作	撮影本番
15	総合学習	結果発表/まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストヘアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストヘアⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	カット道具一式 カラー道具一式 ブロー道具一式			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘア&メイクのトータルコーディネートを学び、個々の創造力を豊かにする。		
到達目標	描いた作品を形にできる技術を身につける。		
評価基準	テスト:30% 小テスト:30% 提出物:40%		
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 		
関連資格			
関連科目	コンテストメイク		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	渡辺 浩康	実務経験	○
実務内容	美容室2年、有名ホテルのブライダルヘアメイク5年経験。講師歴7年。現在はフリーランスのヘアメイクアーティストとして活動中。現場での知識を活かし作品制作、コンテストについての知識や技術を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ヘア実践	テーマを考え実践
2	ヘア実践	テーマを考え実践
3	ヘア実践	テーマを考え実践
4	ヘア実践	テーマを考え実践
5	卒業制作	卒業制作に向けての作品作りを行う
6	卒業制作	卒業制作に向けての作品作りを行う
7	卒業制作	卒業制作に向けての作品作りを行う
8	卒業制作	卒業制作に向けての作品作りを行う
9	テスト	テスト

10	撮影	撮影
11	撮影	撮影
12	ヘア実践	似合わせヘア
13	ヘア実践	似合わせヘア
14	テスト	テスト
15	ヘア実践	似合わせヘア

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストメイク I		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストメイク I		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	メイク道具一式 アクリル絵具			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘア＆メイクのトータルコーディネートを学び、個々の創造力を豊かにする。		
到達目標	描いた作品を形にできる技術を身につける。		
評価基準	テスト:30% 小テスト:30% 提出物:40%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	コンテストヘア		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	甲斐切 直美	実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクサロンを20年経営し、現在もブライダル、芸能、ヘアメイク、舞台へアメイク他、ヘアメイクアップアーティストとして活動。現場の経験を活かしコンテストに必要な技術、知識を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	ウイッグメイク①	ヘアデザインに合わせたメイクのデザインを作製する
3	ウイッグメイク②	アイメイクで表情を作る
4	ウイッグメイク③	アイメイクで表情を作る
5	サロンスタイル①	スタイリストとしてお客様に提案したいスタイルをつくる
6	サロンスタイル②	スタイリストとしてお客様に提案したいスタイルをつくる
7	コンテストメイク①	作品撮影に向けてデザイン案を作製する
8	コンテストメイク②	作品撮影に向けてデザイン案を作製する

9	コンテストメイク③	作品撮影に向けて練習
10	コンテストメイク④	作品撮影に向けて練習
11	作品撮影	作品撮影を実施する
12	デザイン画作製	作品作製に向けて
13	作品作製	デザイン画を元に作品を作製する
14	テスト	テストを実施する
15	総合学習	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストメイクⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	メイク道具一式 アクリル絵具			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘア＆メイクのトータルコーディネートを学び、個々の創造力を豊かにする。		
到達目標	描いた作品を形にできる技術を身につける。		
評価基準	テスト:30% 小テスト:30% 提出物:40%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	コンテストヘア		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	甲斐切 直美	実務経験	<input checked="" type="radio"/>
実務内容	ブライダルヘアメイクサロンを20年経営し、現在もブライダル、芸能、ヘアメイク、舞台へアメイク他、ヘアメイクアップアーティストとして活動。現場の経験を活かしコンテストに必要な技術、知識を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	メイク実践	テーマを考え実践
2	メイク実践	テーマを考え実践
3	メイク実践	テーマを考え実践
4	メイク実践	テーマを考え実践
5	卒業制作	卒業制作に向けての作品作りを行う
6	卒業制作	卒業制作に向けての作品作りを行う
7	卒業制作	卒業制作に向けての作品作りを行う
8	卒業制作	卒業制作に向けての作品作りを行う
9	テスト	テスト

10	撮影	撮影
11	撮影	撮影
12	メイク実践	似合わせメイク
13	メイク実践	似合わせメイク
14	メイク実践	似合わせメイク
15	総合学習	テスト実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容総合テクニックⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容総合テクニックⅠ		
年次	1年	学科	美容研究科		
使用教材	カット道具一式 カラー道具一式 ブロー道具一式			出版社	公益社団法人日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	スタイル作成・撮影		
到達目標	テーマ沿った作品を形にできる技術を身につける。		
評価基準	作品の仕上がり30%、提出物40%、授業態度30%		
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 		
関連資格			
関連科目	美容技術理論		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	田代 勝吾	実務経験	○
実務内容	美容室にてスタイリストとして5年経験。美容師の実務経験を活かし、シャンプーのテクニックを教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、ルール説明、
2	ヘア・メイク(練習)	テーマに沿ったスタイルの作成練習
3	ヘア・メイク(本番・撮影)	テーマに沿ったスタイルの撮影
4	ヘア・メイク(練習)	テーマに沿ったスタイルの作成練習
5	ヘア・メイク(本番・撮影)	テーマに沿ったスタイルの撮影
6	ヘア・メイク(練習)	テーマに沿ったスタイルの作成練習
7	ヘア・メイク(本番・撮影)	テーマに沿ったスタイルの撮影
8	ヘア・メイク(練習)	テーマに沿ったスタイルの作成練習
9	ヘア・メイク(本番・撮影)	テーマに沿ったスタイルの撮影

10	ヘア・メイク(練習)	フォトコンテストのテーマに沿ったスタイルの作成練習
11	ヘア・メイク(本番・撮影)	スタイルの撮影
12	フォトコンテストへ提出準備	提出するフォトコンテストの規定の確認・説明
13	写真編集・加工	撮影した写真の編集・印刷
14	写真編集・加工	撮影した写真の編集・印刷
15	フォトコンテストへ提出	フォトコンテスト提出

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容総合テクニックⅡ
必修選択	選択	(学則表記)	美容総合テクニックⅡ
開講			単位数
年次	1年	学科	美容研究科
使用教材	シャンプー道具一式、美容技術理論		出版社

科目の基礎情報②

授業のねらい	シャンプーイングの目的と頭皮、毛髪の基本知識を習得し、シャンプーの施術方法を知る。		
到達目標	シャンプーイングの目的を理解し、シャンプー技術のプロセスを身につける。		
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	美容技術理論		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	田代 勝吾	実務経験	○
実務内容	美容室にてスタイリストとして5年経験。美容師の実務経験を活かし、美容師全般の技術を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、ルール説明、シャンプー理論
2	シャンプーイング	シャンプー理論テスト、シャンプープロセス理解
3	シャンプーイング	シャンプー(プレーンリンシング)(相モデル)
4	シャンプーイング	シャンプー(1シャン手順)(相モデル)
5	シャンプーイング	シャンプー(2シャン手順)(相モデル)
6	シャンプーイング	シャンプー(トリートメント、マッサージ手順)(相モデル)
7	シャンプーイング	シャンプー全行程タイム取り(相モデル)
8	シャンプーイング	シャンプー全行程タイム取り(相モデル)
9	シャンプーイング	シャンプー全行程タイム取り(相モデル)

10	シャンプーイング	テスト
11	シャンプーイング	ヘッドスパ
12	シャンプーイング	ヘッドスパ
13	シャンプーイング	ヘッドスパ
14	シャンプーイング	ヘッドスパ
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロアクティブⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロアクティブⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	美容研究科	2	60
使用教材	まつ毛エクステンション教材一式			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	まつ毛エクステンションの理論、眼の周りの病気、禁忌、薬剤の使い方、装着の仕方を学び、実践に慣れさせる。		
到達目標	ABEまつ毛エクステンション検定 アシスタントディレクター取得		
評価基準	テスト30%、小テスト20%、提出物20%、授業態度30%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	石塚 順子	実務経験	○
実務内容	美容室、エステティックサロン、トータルビューティーサロンにてエステティシャンとして勤務。同時に講師として16年目、スクール試験や外部試験に携わる。長年の経験を活かし、まつ毛エクステンションの技術や知識を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション、道具確認、ワゴンセッティング	授業の流れとルール説明、道具確認とワゴンセッティング
2	概論、用具まつ毛エクステンション実習①	まつ毛エクステンションの概論と用具の説明、用具の消毒と手指消毒、ツイザーの持ち方、まつ毛のかき分け方
3	衛生管理まつ毛エクステンション実習②	衛生管理、グルーの取り扱いと使用方法と紙でのまつ毛エクステンションの装着
4	保健(皮膚とまつ毛)まつ毛エクステンション実習③	皮膚とまつ毛の構造と病気、Jカールの装着
5	保健(眼)まつ毛エクステンション実習④	眼の構造と病気、Cカールの装着
6	テーピング、リムーピングの使い方と技術	テーピングとリムーピングの使用方法
7	カウンセリングまつ毛エクステンション実習⑤	カウンセリング、アフターケアの説明、装着復習
8	小テストタイムトライアル①	復習テスト、検定試験実技の流れ

9	タイムトライアル②	タイムトライアル
10	タイムトライアル③	タイムトライアル
11	小テストタイムトライアル④	タイムトライアル
12	前期末テスト	前期末テスト
13	検定試験対策①	検定試験実技の対策
14	検定試験対策②	検定試験実技の対策
15	検定試験対策③、検定試験前準備	検定試験実技の対策と検定試験実技の前準備

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロアクティブⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロアクティブⅡ		
年次	1年	学科	美容研究科		単位数 時間数
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式		出版社	1	45
公益財団法人 理容師美容師試験研修センター					

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第2課題について基本姿勢、知識及び構成、時間、仕上がりのベースを理解して身に付ける。		
到達目標	美容師国家試験第2課題技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。		
評価基準	テスト50% 提出物20% 授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	美容ベーシックB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	渡辺 浩康	実務経験	○
実務内容	美容室2年、有名ホテルのブライダルヘアメイク5年経験。講師歴7年。現在はフリーランスのヘアメイクアーティストとして活動中。現場での知識を活かし美容師国家試験のオールウェーブについて合格に必要な技術を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
2	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
3	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
4	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
5	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたはワインディング4H
6	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたはワインディング4H
7	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたはワインディング4H
8	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたはワインディング4H

9	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたはワインディング4H
10	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたはワインディング4H
11	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたはワインディング4H
12	オールウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたはワインディング4H
13	総合授業	総合授業
14	総合授業	振り返り
15	総合授業	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策 I		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策 I		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。 また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材になっている。		
到達目標	希望の就職先に内定		
評価基準	テスト:40% 提出物・課題:30% 授業態度:30%		
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	小松田 健治	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	目標設定 今後の就職スケジュール	2年生の目標設定 就職・面談アンケート
2	仕事の計画	社会人の仕事のスケジュール管理 就職活動の計画表作成
3	就職決定までの流れ	エントリー方法・試験内容 送付状、内定お礼状、郵送用封筒の作成について 返信書類管理方法
4	電話・メール・SNSの使い方	電話・メール・SNSの使い方復習
5	働く上でのチームワーク	グループディスカッションとは
6	一般常識試験対策	ことわざ、四字熟語、漢字、計算などの筆記試験対策
7	面接練習①	入室・退室のルール、座り方や姿勢のマナー復習
8	面接練習②	集団面接
9	中間まとめテスト	中間まとめ・テスト

10	社会人基礎力①	グループディスカッション【自分たちの就職する業界で求められる人材とは】
11	社会人基礎力②	前回のディスカッションからチームごとにまとめ発表
12	社会人基礎力③	前回のディスカッションで分かったことから自分が伸ばすべき能力分析 自己分析シート記入
13	プレゼンテーション	プレゼンテーションのポイント 資料の作成について
14	前期末まとめテスト	前期末まとめ・テスト
15	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	なし	出版社		なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。 また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材になっている。		
到達目標	希望の就職先に内定		
評価基準	テスト:40% 提出物・課題:30% 授業態度:30%		
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	小松田 健治	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プレゼンテーション①	夏休み宿題のプレゼンテーション発表
2	プレゼンテーション②	
3	プレゼンテーション③	
4	社会人準備	社会保険や年金制度について学ぶ 給料の配分など各自シミュレーションを行い計画を立てる(1人暮らし・実家暮らし)
5	社会人基礎力①	社会に出るにあたって必要となるスキルを身につける。 モチベーションアップの方法
6	社会人基礎力②	
7	社会人基礎力③	
8	社会人基礎力④	
9	中間まとめ	中間振り返り

10	社会人基礎力⑤	
11	社会人基礎力⑥	接客ロールプレイングを実施 良い接客をする為の練習
12	社会人基礎力⑦	
13	社会人基礎力⑧	
14	後期末まとめ	後期末振り返り
15	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容ベーシックB		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウェーブ教材一式 カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。		
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する。		
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格(実技)		
関連科目	美容技術理論 I		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	渡辺 浩康	実務経験	○
実務内容	美容室2年、有名ホテルのブライダルヘアメイク5年経験。講師歴7年。現在はフリーランスのヘアメイクアーティストとして活動中。現場での知識を活かし美容師国家試験合格に向けて必要な技術と知識を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する
8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生

9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅴ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅴ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	美容研究科		1 15
使用教材	文化論			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。 美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。		
到達目標	自分で生活の中から知識や理論を深めることができる。 美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。		
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	和田 夏子	実務経験	○
実務内容	13年間、デザイン会社に勤務しデザイン・イラスト制作に携わる。 現在はフリーランスで講師とイラストレーターとして活動し、その知識・経験を基に国家試験に必要な美容技術の知識を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節 第1章 総論 第1節 総論	経営を定義、経営の必要性を教える 経営の捉え方、経営資源とは、経営計画とはを教える 第1節理容業・美容業の発生第2節江戸時代の理容業・美容業 第3節近代の理容業・美容業第4節現代の理容業・美容業 第1章小テスト
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第5節 第6節 第2章 理容業・美容業の経営について 第1節 第2節 第3章 ファッション文化史日本編 第1節 縄文・弥生・古墳 第3章 ファッション文化史日本編 第2節 古代(飛鳥・奈良・平安時代)	経営戦略とは何か/良い店の実現を教える 業界の概要/競争と方向性の変化を教える 縄文・弥生・古墳時代の髪型・化粧・服装について 古代の髪型・化粧・服装について
3	第2章 理容業・美容業の経営について 第3節 第4節 第3章 資金の管理 第1節 第2節 第3章 ファッション文化史日本編 第3節 第4節 第3章 ファッション文化史日本編 第5節 近世Ⅱ(江戸時)	美容業界のサービスについて教える 資金管理の重要性と資金の流れを把握することを教える 中世・近世Ⅰの髪型・化粧・服装について 江戸時代の髪型について

4	<p>第3章 資金の管理 第3節 第4節 第5節</p> <p>第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源 第1節 第2節</p> <p>第3章 ファッション文化史日本編 第5節 近世Ⅱ(江戸時代)</p> <p>第3章 ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)</p>	<p>会計の意味や考え方、コスト管理を教える 各税金と、従業員に対する労務管理の基本を教える 江戸時代化粧・服装について日本髪 髮型・服装・日本髪小テスト 明治の髪型・服装・化粧について</p>
5	<p>第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源 第3節 第4節 第5節 第6節</p> <p>第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源 第2章 健康・安全な職場環境の実現 第1節 第2節</p> <p>第3章 ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)</p> <p>第3章 ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ(1945～1950年代)</p>	<p>モチベーションの上げ方/給与/待遇と福利厚生について教える 労働者の権利、健康で安全な職場環境について教える 明治の髪型・服装・化粧について 大正、昭和の髪型・服装・化粧について</p>
6	<p>第2編 人という資源 従業員としての視点 第2章 健康・安全な職場環境の実現 第3節 第4節</p> <p>第3章 従業員としての視点から 第1節 第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第2節 第3節</p> <p>第3章 ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ(1960～1970年代) まとめ</p>	<p>美容業の健康課題、社会人の責任を教える 各種社会保険について教える(1) 1960～1970年代の髪型・化粧・服装について まとめを実施する</p>
7	<p>まとめ 振り返り テスト解説 第3章 ファッション文化史日本編 第9節 第10節 総まとめ</p>	<p>授業習得度の確認 テスト回答 & 解説 テストの振り返り・解説 1980～2000年代の髪型・化粧・服装について 総まとめを行う</p>
8	<p>第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第3節 第4節</p> <p>第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第5節 第6節</p> <p>第3編 顧客のために 第1章 サービスデザイン 第1節 第4章 ファッション文化史西洋編 第1節～第3節 古代エジプト・ギリシャ・ローマ・ゲルマンの髪型・化粧・服装について</p> <p>第4章 ファッション文化史西洋編 第4節 中世ヨーロッパ</p>	<p>各種社会保険について教える(2) キャリアプランを組立てる重要性、サービスデザインについて教える 古代エジプト・ギリシャ・ローマ・ゲルマンの髪型・化粧・服装について 中世ヨーロッパ、16世紀の髪型・化粧・服装について</p>
9	<p>第3編 顧客のために 第1章 サービスデザイン 第2節 第3節 第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン 第4節 第5節</p> <p>第4章 ファッション文化史西洋編 第5節 近世Ⅰ(16世紀) 第6節 近世Ⅱ(17世紀) 第4章 ファッション文化史西洋編 第7節 近世Ⅲ(18世紀)</p>	<p>価値の構造、顧客満足、システムについて教える 人の価値と顧客の価値の多様性について教える 16世紀、17世紀の髪型・化粧・服装について 18世紀の髪型・化粧・服装について</p>
10	<p>第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン 第6節 第2章マーケティング第1節 第3編 顧客のために 第2章 マーケティング 第2節 第3節 第4章 ファッション文化史西洋編 第8節 近代Ⅰ(18世紀末～19世紀初め) 第9節 近代Ⅱ(19世紀) 第4章 ファッション文化史西洋編 第10節 現代Ⅰ(1910～1920年代) 第11節 現代Ⅱ(1930～1940年代前半)</p>	<p>サービスの範囲、美容病のマーケティングの特徴と要点を教える マーケティングミックスの短期的要因について教える(1) 18世紀、19世紀の髪型・化粧・服装について 近代Ⅰ～近代小テスト 1910～1940の髪型・化粧・服装について</p>
11	<p>第3編 顧客のために 第2章 マーケティング 第4節 第3編 顧客のために 第2章 マーケティング 第5節 第6節 第4章 ファッション文化史西洋編 第12節 現代Ⅲ(1940後半～1950年代) 第13節 現代Ⅳ(1960年代) 第4章 ファッション文化史西洋編 第14節 現代Ⅴ(1970年代)</p>	<p>マーケティングミックスの短期的要因について教える(2) マーケティングミックスの長期的要因について教える 1940～1960の髪型・化粧・服装について 1970の髪型・化粧・服装について</p>

12	第3編 顧客のために 第3編 顧客のために 第2章 マーケティング 第7節 第3章 サービスにおける人の役割 第1節 第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割 第2節 第3節 第4章 ファッション文化史西洋編 第15節 現代VI(1980年代) 第4章 ファッション文化史西洋編 第16節 現代VII(1990~2010年代)	サービスのシステム化と接客について教える 接客の計画と準備、接客力の高め方と接客の実践法について教える(1) 1980の髪型・化粧・服装について 1990 ~2010年代の髪型・服装・化粧について
13	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割 第4節 第5節 第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割 第6節 第7節 第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	接客の実践について教える(2)(3) 接客の実践について教える(4)(5) 和装の礼装について
14	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割第8節 第9節 第10節	接客トラブルの対応、クレームや事故への対策・対処方法について教える
15	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認